

再評価【番号4】

一般県道 徳島東インター線  
北沖州工区

# 1. 事業概要

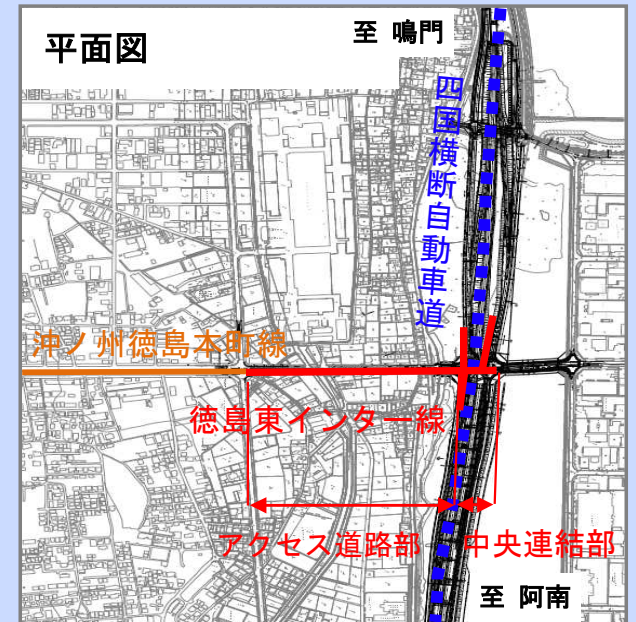
位置図



凡 例

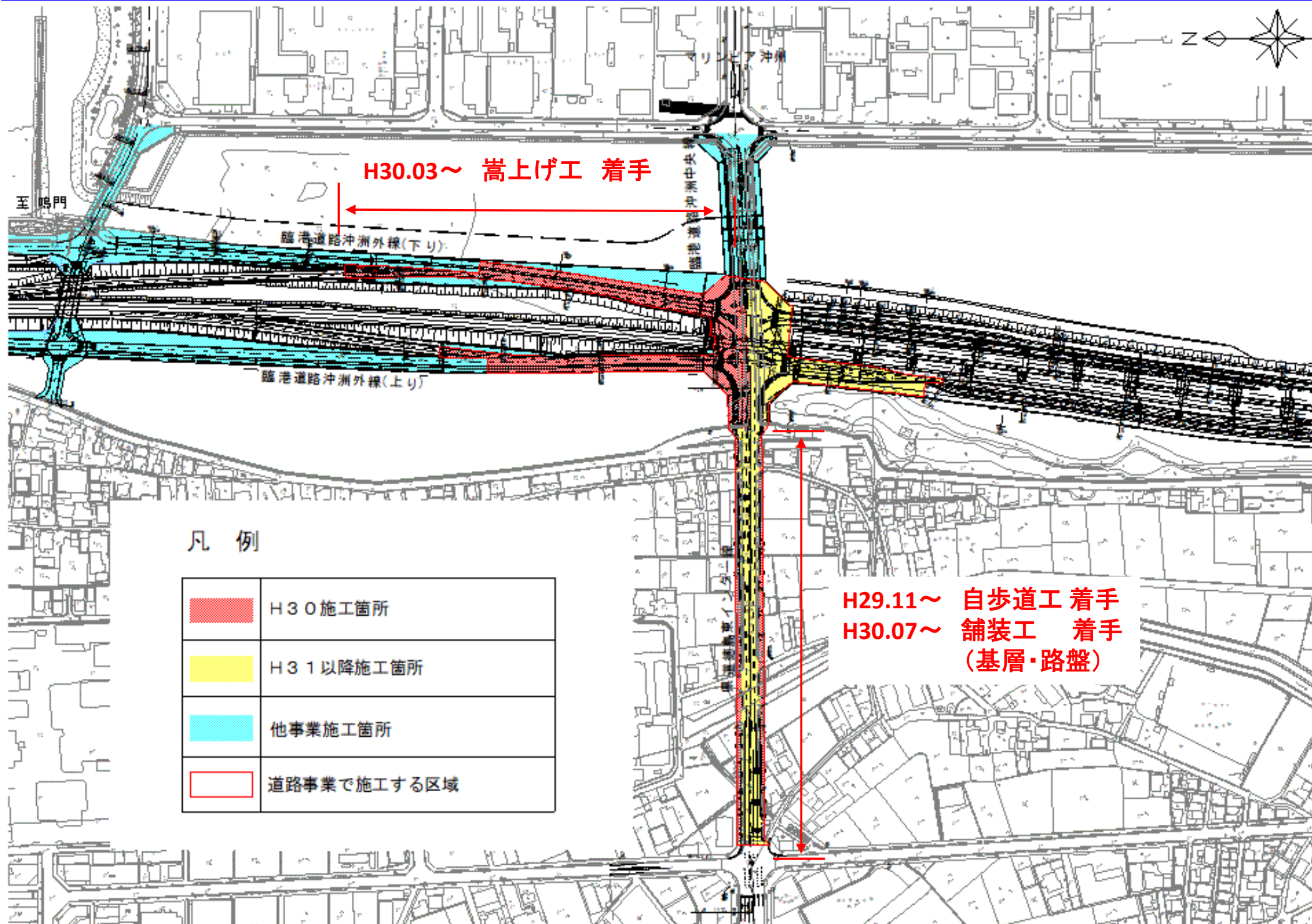
- 四国横断自動車道 (未供用区間)
- 国道(現道)
- 国道(未供用区間)
- 県道(現道)

平面図



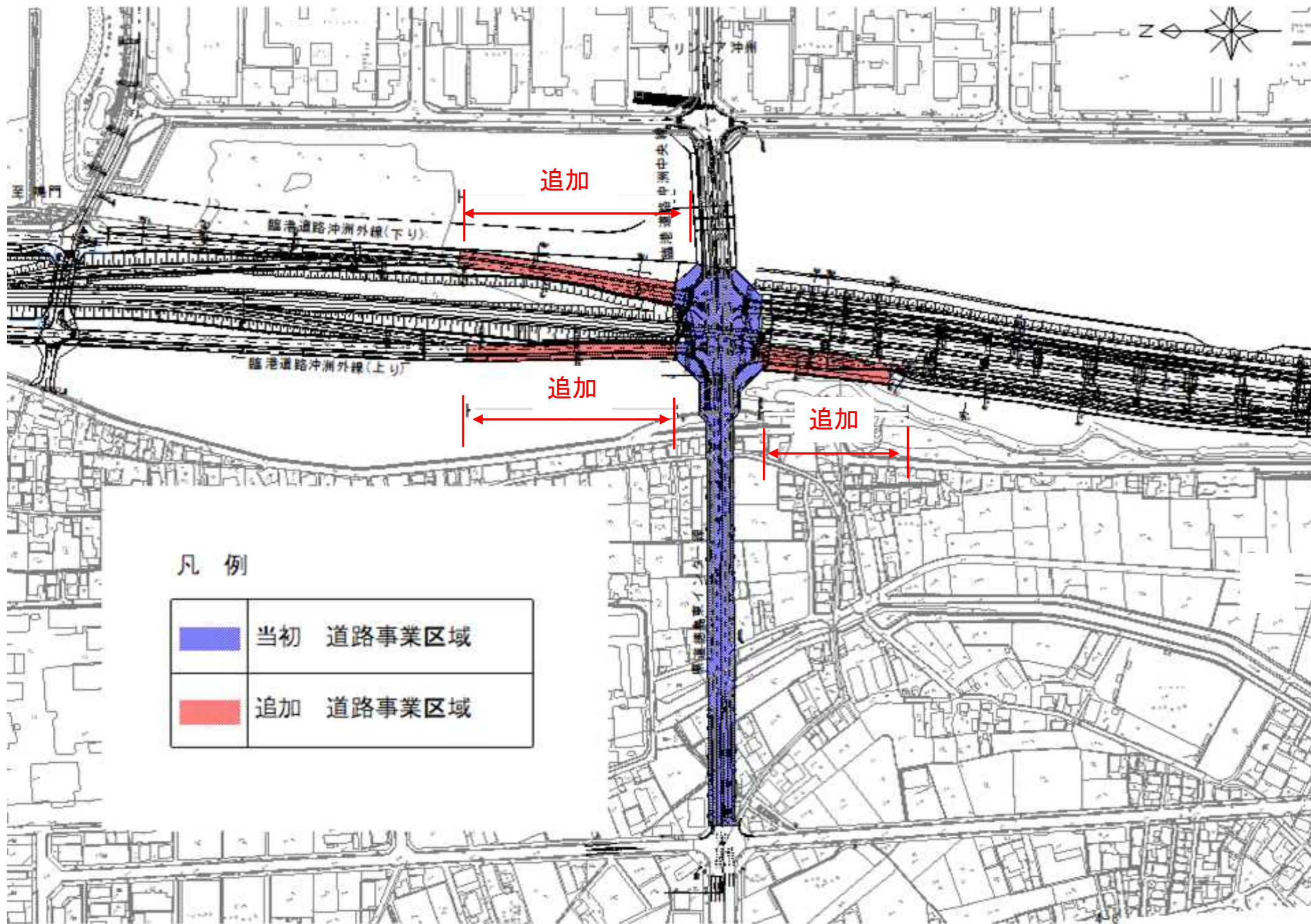


## 2. 事業の進捗状況



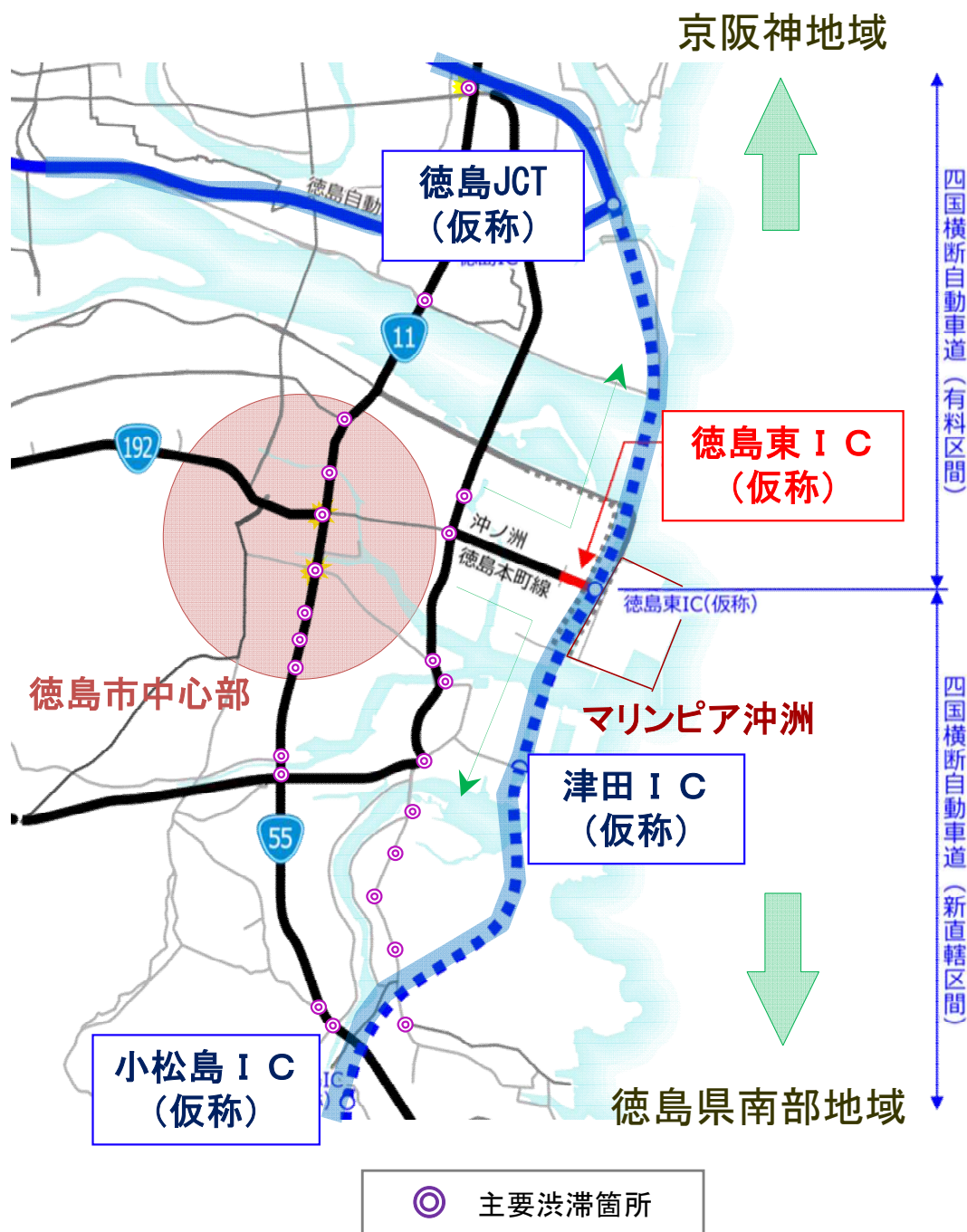


### 3. 全体事業費の変更理由



## 4. 道路整備による多様な効果①【活動圏域】

### ◎その他の便益



### 環境

- 地球環境の保全効果 **0.4億円**
  - ・ **CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>の排出量が抑制**され、**大気汚染・温暖化防止効果**が見込まれる

### 活動圏域

- 広域的な道路交通ネットワークの構築
- ① アクセス性の強化
  - ・ 四国横断自動車道と**徳島市中心部とのアクセス性が強化**
- ② 緊急輸送道路の機能の強化
  - ・ 既存道路4車線化による**第一次緊急輸送道路の機能が強化**

➡ **社会活動圏域の拡大**



## 5. 道路整備による多様な効果③【地域産業活性化】

### ◎その他の便益

#### 地域産業活性化

##### ■地域産業の活性化

##### 物流の効率化

- ・ マリンピア沖州の複合一貫輸送ターミナルに東京～北九州間のフェリーが就航しており、四国横断自動車道へのアクセス向上により**効率的・広域的な集荷が可能**となる

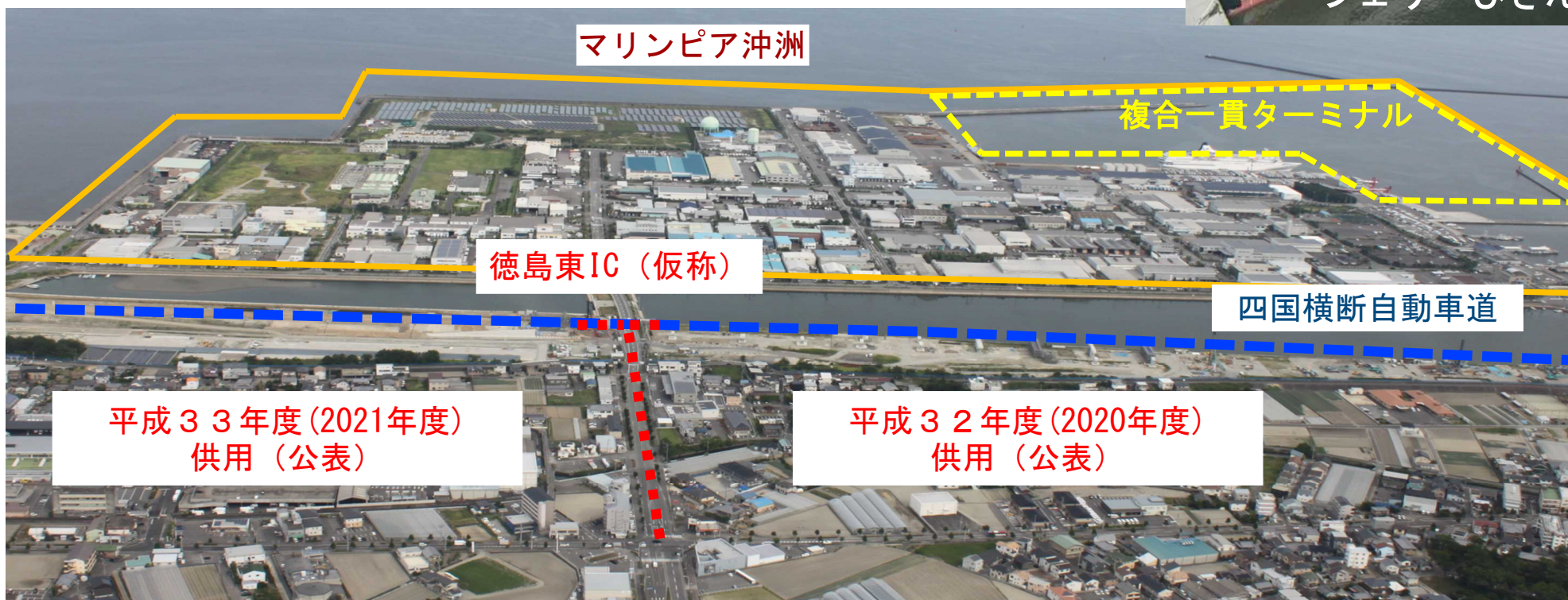


企業の産業競争力強化

「陸・海・空」交通体系の発展



フェリーびざん



## 6. 事業評価結果

### 貨幣換算可能な整備効果

- ・ 走行時間短縮便益
  - ・ 走行経費減少便益
  - ・ 交通事故減少便益
- 計 **10.2億円**  
(現在価値化後)

### その他の便益

#### 環境

- ・ 騒音低減便益 0.0 億円
- ・ NO<sub>x</sub> 低減便益 0.3 億円
- ・ CO<sub>2</sub> 低減便益 0.1 億円

計 **0.4億円**  
(現在価値化後)

※費用C=5.8億円 (現在価値化後)

$$\underline{B/C = 1.8}$$

(参考) その他の便益を含む  $B/C = 1.8$

### 貨幣価値に表れない整備効果

#### 活動圏域

- アクセシ性の強化  
⇒ 四国横断自動車道と徳島市中心部とのアクセシ性が強化
- 緊急輸送道路の機能強化  
⇒ 既存道路の4車線化による  
第一次緊急輸送道路の機能強化

#### 地域産業活性化

- 物流の効率化  
⇒ 効率的・広域的な集約が可能

■ 今後の対応方針(案)

**事業継続**